

県会議員 奥村のり子の  
読者ニュース

2016年9月25日 第234号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



一般質問

防災問題について紹介  
熊本地震の教訓生かせ

台風16号襲来!みなさん、大丈夫でしたか?  
9月議会も来週で閉会です。今回行った一般質問のうち『防災の取り組み』についてご紹介します。

私は今年4月に発生した中央構造線活断層系の西端で起った熊本地震からしっかりと教訓を得ることが重要だと思っています。和歌山県においても和泉山脈の南麓に沿って東西に中央構造線活断層が走っています。近い将

来直下型の災害が予想されています。南海トラフ地震とともにこの直下型地震への対策が必要と質しました。

そして、対策を考える際に、急傾斜地や軟弱地盤、災害の履歴等を考慮してどのような被害があるかを事前に調べる「防災アセスメント」の重要性を訴えました。特に自然災害により、広範囲に



一般質問する奥村のり子です。(9月15日)

全国で400カ所超

戦争法丸1年のさまざまな取り組みは全国でなんと400カ所を超えたそうです。和歌山は台風前の天候が心配でしたが、各団体のトークとパレードは元気のよい呼びかけがよかったですね。

辺野古埋め立て不当判決!  
アベ政権の言い分追認ばかり

沖縄の辺野古の米軍新基地建設問題で、翁長雄志知事が行った辺野古埋め立て承認取り消しは違法と国が県を訴えた訴訟で、福岡高裁那覇支部は、国の主張ばかり認めるあきれた不当な判決でした。国は普天間基地の危険性を除去するため辺野古の埋め立ては必要と主張。県側は前知事の埋め立て承認は公有水面埋立法を満たしておらず違法と主張。判決は例えば辺野古埋め立ての必要性で軍事的な理由は認め、県が主張する環境面については一切考慮しないと、普天間の移設先は「辺野古が唯一」とするアベ政権の追認ばかり。日本の米軍基地の70%超す沖縄の負担の苦しみなど全くわかっていない裁判としかいえない。辺野古がだめなら普天間の被害を継続だというアベ政権の「どう喝」まで同じと言うまるでアベ下請け機関みたいな判決。

「国と地方公共団体は対等・協力であるべき」との地方自治法の趣旨にも背く、法の番人たる裁判所の役割を投げ捨てた判決に、「こういった一方的な内容の場合には、沖縄県民のより大きい反発と結束がこれからでてる」と翁長知事は最高裁へ上告します。判決報告集会で共産党の赤嶺政賢衆院議員は「あたかも沖縄には法律はいらないというアベ政治と、これに加担した今日の判決は許せない」と引き続き闘いの決意を表明しました。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 9月23日 市駅/吉宗像前宣伝、常任委員会
- 24日 地域訪問、河西後援会街頭宣伝
- 25日 自治労連大会あいさつ、ついで、河北後援会街頭宣伝
- 26日 常任委員会予備日、河西無料生活相談
- 27日 本会議、勉強会、懇親会
- 28日 本会議(閉会)
- 29日 市駅前無料生活相談、特別委員会視察

雄湊小学校跡地は?

伏虎義務教育学校の新設に伴う雄湊小学校の跡地活用については、日赤和歌山医療センターが4年生の看護大学を他大学と連携した設置を検討する中で、和歌山市としても4年生大学化の働きかけを行い、設置を支援するという形で5月30日に県・市・大学・日赤で協定の締結を行いました。具体的な支援は、校舎の改修等に係る費用、見込み額約3億5千万を市が補助するというものです。また、校舎南側グラウンドについては、義務教育学校のサブグラウンドとして利用し、それ以外の土地は有償で



資料の一部です

党市議会議員  
中村あさと



4年制看護大学めざす  
市が援助して

貸与、校舎体育館については、譲渡したいとのことですが、支援に係る予算や無償譲渡等については、議会の議決が必要となります。設置者は学校法人青葉学園、定員数は一学年90名(収容定員360名)程度、開校時期は2018年4月を予定しているとの事です。

